



快樂
金髮
男娘
の娘！

イロガワ ハヤトはちょっとした不良だった。
大それた悪事に手を出すことはなく、なんとなくいった
ノリとか付き合いで授業をさぼったり、ちょっと酒を呑ん
でみたり。

そんな彼は容姿が可愛いと女子にはちょっとした評判で。
デートに誘ってきたその女の先輩がまたハヤトの好みで。
彼氏がいると知っていたのに誘いについで乗ってしまった。
バレやしない。と何故か思いこんで。
つまりは、調子に乗っていたのだ。

その女子の彼氏は学校でも陰湿で有名な先輩で。
あっさりと彼女に手を出したことがバレてしまった。

先輩は元より、ハヤトをあまり気に入っていなかった。
女子にチャホヤされているが気に入らないと。
そんな先輩が今回のような機会を逃すはずがなかった。

仲間も使い、ハヤトを学校の空き部屋に連れ込み拘束。
怯えの色を見せるハヤトを見て、ニタニタ笑う。

「今、金欠でさあ。
ちょっと知り合いがAV作ってて。
男の娘っていうの？そういうの素人もので映像ほしい。
って買い取ってくれるらしんだよねー。
ちょっと主演させるからさー。
頑張ってくれよー」

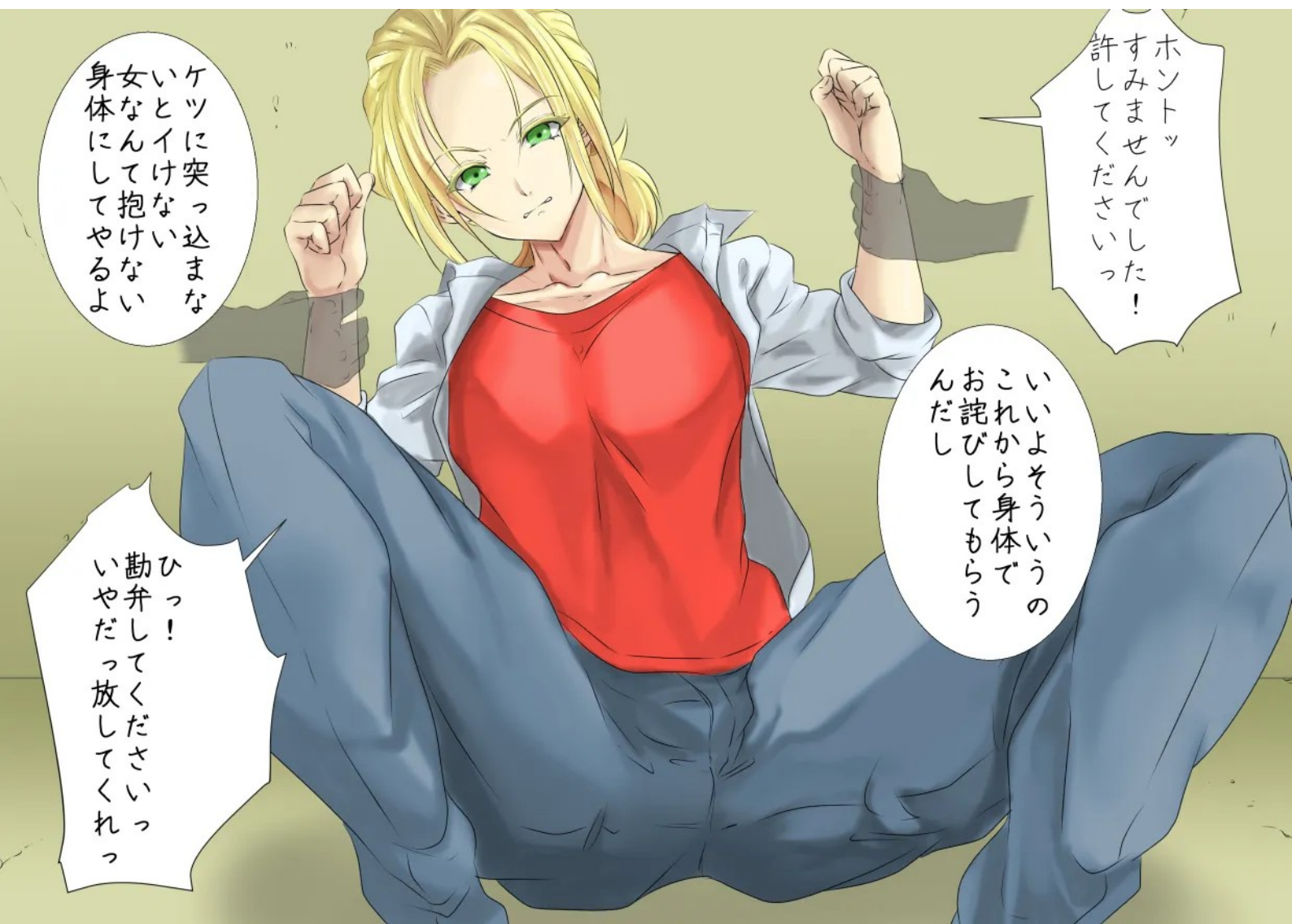
意地の悪い笑みでビデオカメラのレンズがハヤトに向け
られた。

ホントッ
すみませんでした！
許してくださいっ

いいよそういうの
これから身体で
お詫びしてもらっ
んだし

ケツに突っ込まな
いとイけない
女なんて抱けない
身体にしてやるよ

ひっ！
勘弁してくださいっ
いやだっ放してくださいっ

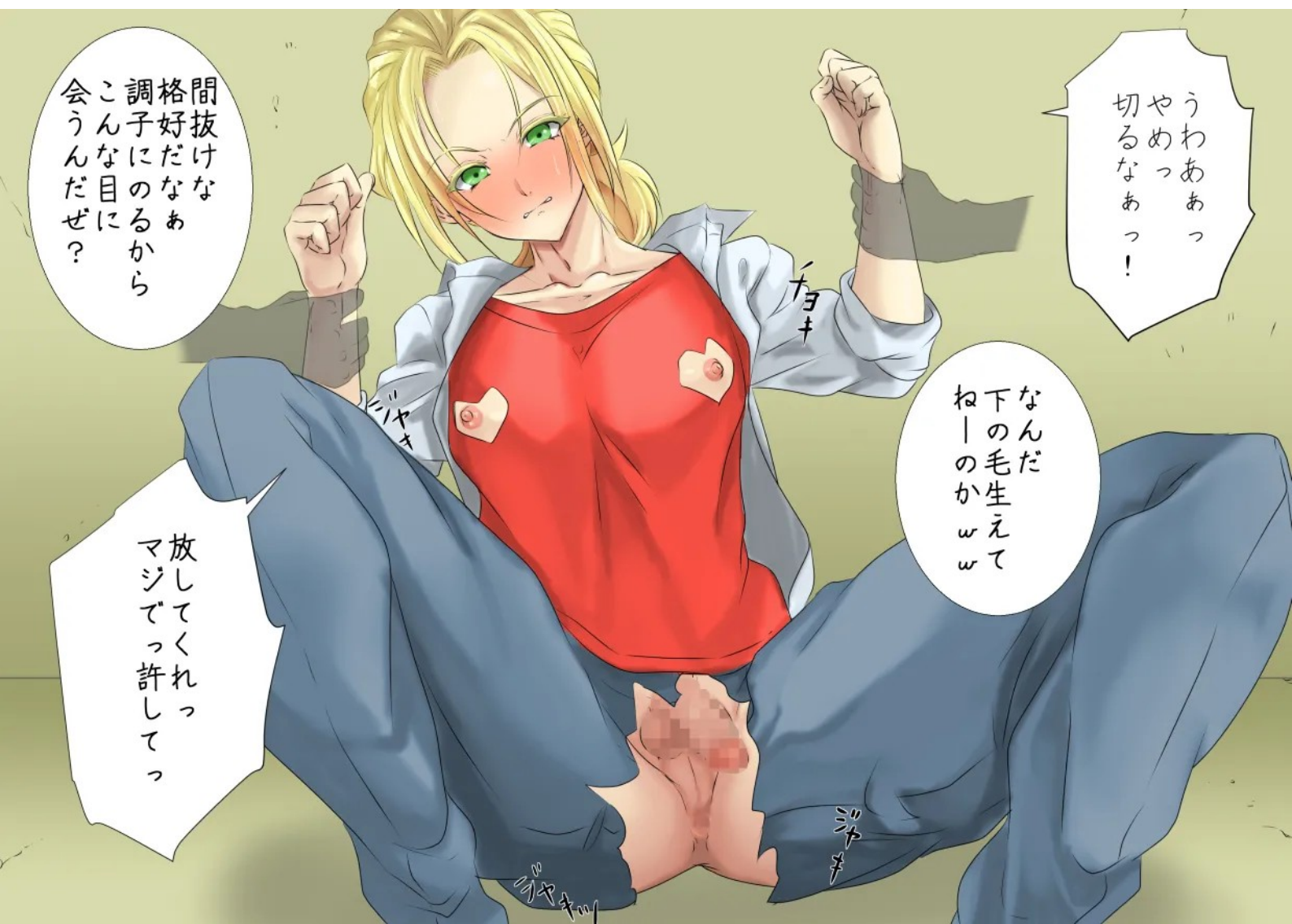


うわあぁっ
やめっ
切るなあっ！

なんだ
下の毛生えて
ねーのかww

間抜けな
格好だなあ
調子にのるから
こんな目に
会うんだぜ？

放してくれっ
マジでっ許してっ



っっ！
な、なんだよっ
それっ

媚薬だよ媚薬
めちやくちゃ
高かったんだぞ
これの元は最低でも
稼げよお前

よがり狂うの
ちゃんと撮ってやるよ
覚悟はいいな？
ハヤトちゃん

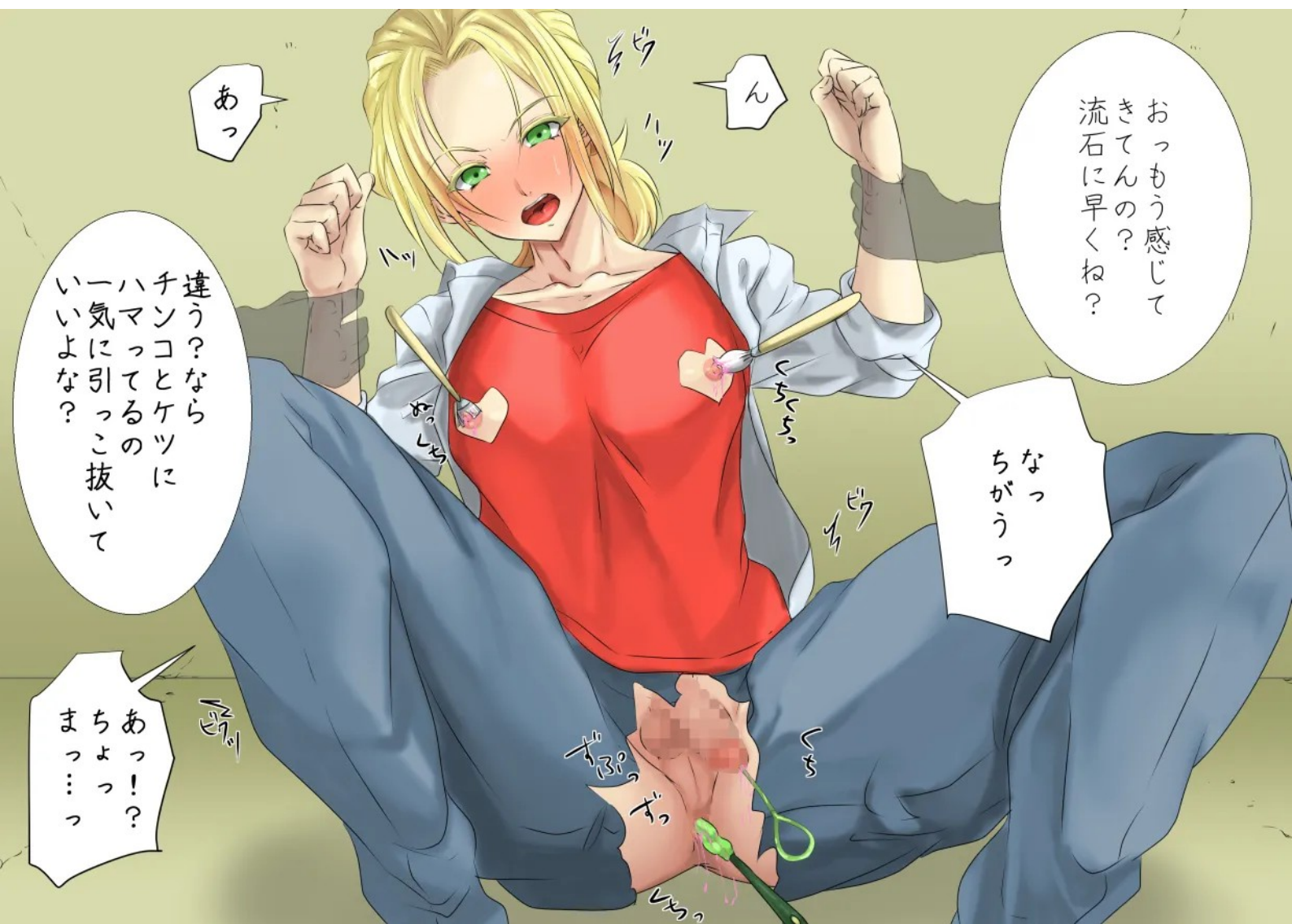




あああっ！
やめろっ！
止めてくれって！

おおっ！
入ってくっ！ははっ

気持ち悪いっ！
のになんかっ
身体が変に熱く
なってくっ！



おっもう感じて
きてんの?
流石に早くね?

なっ
ちがうっ

ん

ビク
ハッ

あっ

違う?なら
チンコとケツに
ハマってるの
一気に引っこ抜いて
いいよな?

あっ!?
ちよっ?
まっ...っ

ずる
ずる
しゅっ

くち

ビク

くちくち

ハッ

やっしゅ







こんなあっさりっ！
き、気持ちいなんてっ
尻の穴もチンコの中も
乳首もじんじんと
熱くてっ！！

薬の効果も相まってあっさりと絶頂したハヤトの様子を面白がって媚薬を身体にふりかけ、身体の穴と言う穴に注ぎ込んだ。

身体に媚薬が吸収されるたびに快楽に思考が溶かされる。ハヤトが自ら犯してくれと懇願するのに時間はかからなかった。





ははっ
すっかり出来上がって
んじゃねーか

あうう

あつ
あつ
いっ
はっ
えく
っ
い
じ
っ
て
え
っ
っ

撮影のテーマが男の娘であるため、ハヤトに女装をさせ、
床に横たわらせ、片足を掴み上げる。

期待するかのようにひくひくとアナルが震えていた。

思いの外、違和感のない女装に笑いながらハヤトに手を
伸ばす。

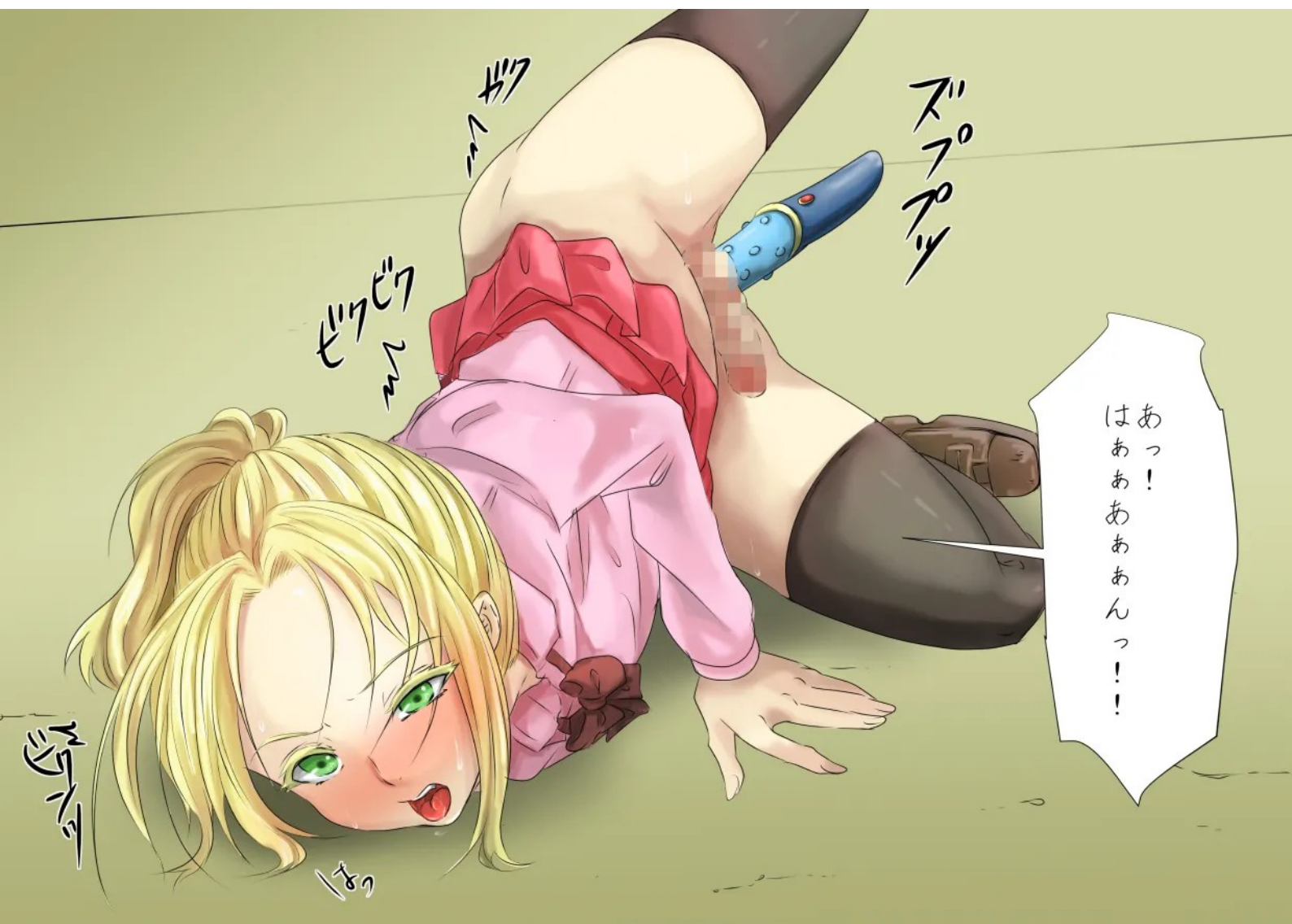


物欲しそうだなあ
おねだりでも
してみろよ

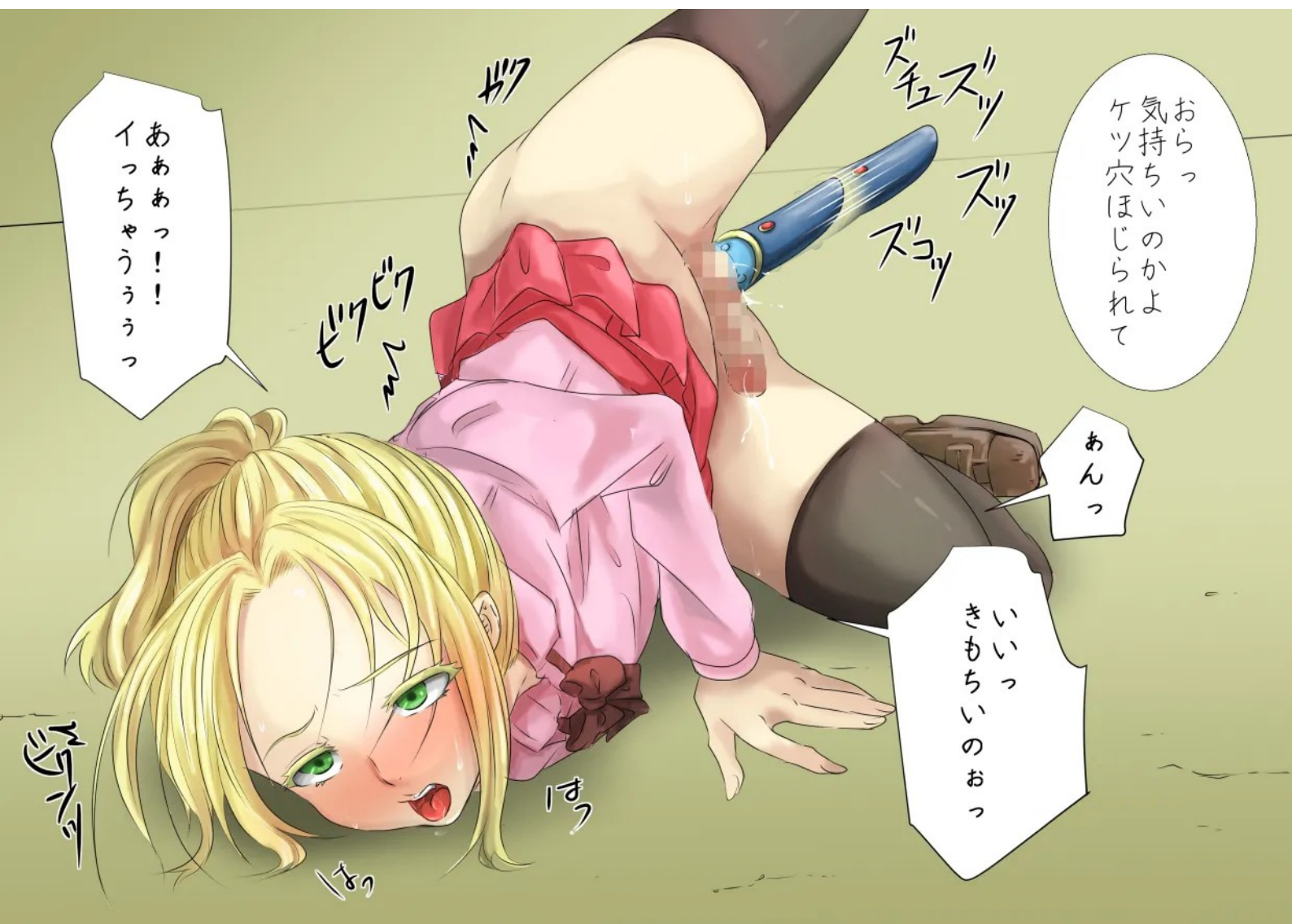
ううっはあっ
早くっは
うくっケツマンコ
っいてえ!
奥の







はあっ!
ああああんっ!!



おらっ
気持ちいのかよ
ケツ穴ほじられて

あんっ

いいっ
きもちいのおっ

あああっ!!
イっちゃううっ

ズ
チュ
スッ
ズッ
ズッ
ズッ

ビク
ビク
〜

グワ
〜

はっ

はっ

グワ
〜



抜かれたの
感覚でイッたの
かよ

んはあ
うううっ!!!



次にハヤトはスクール水着を着せられ、外の水泳場に連れて行かれた。

部活動中の男子水泳部部員が好奇の目を向ける。

先輩は撮影のことなどを部員たちに話し、協力を求めた。

説明を受けた部員たちは好奇心と加虐心を隠そうともしない笑みを浮かべた。

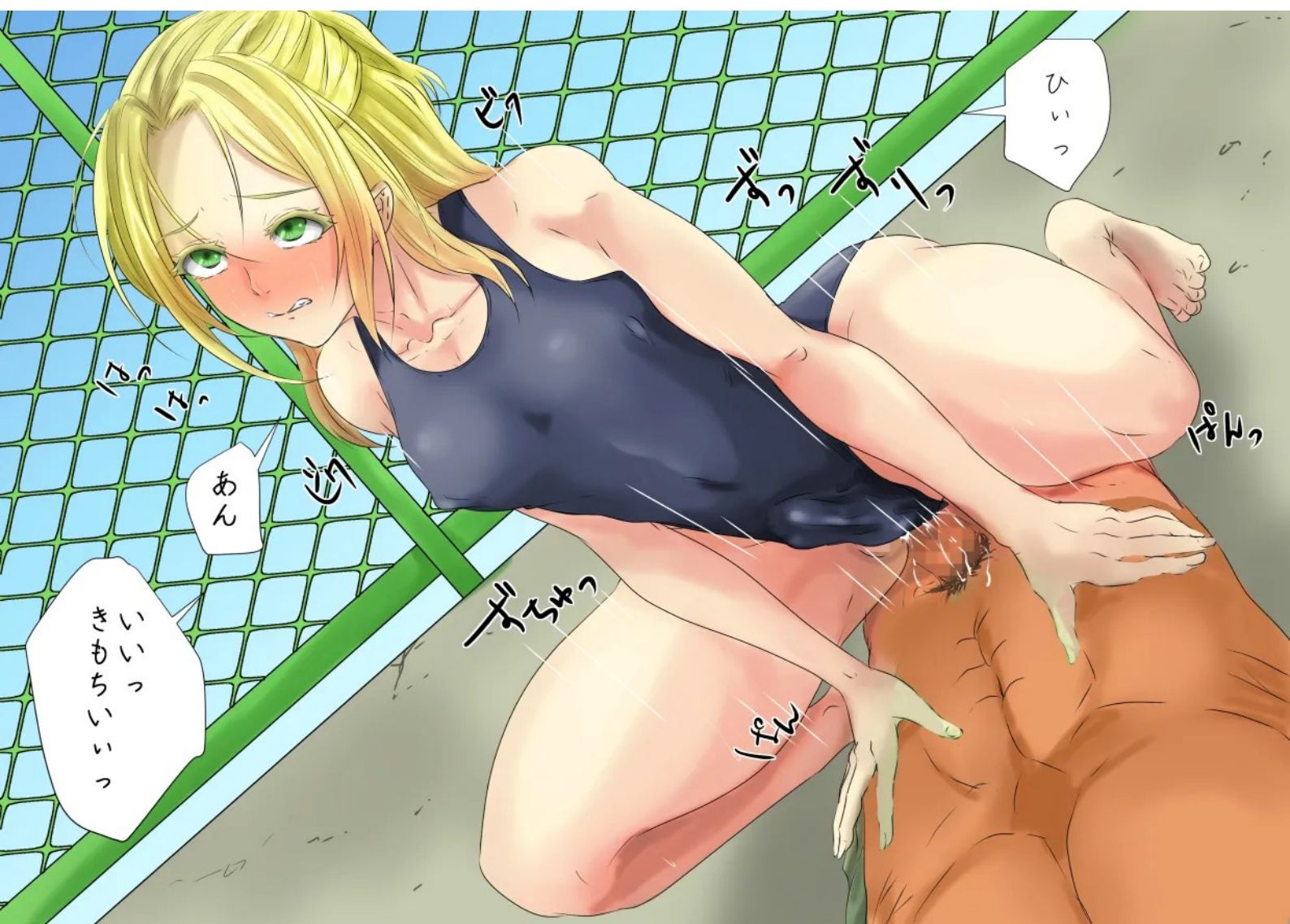
寝っ転がった男子の上にハヤトは自ら跨り、勃起した一物を下の穴に咥えこんだ。

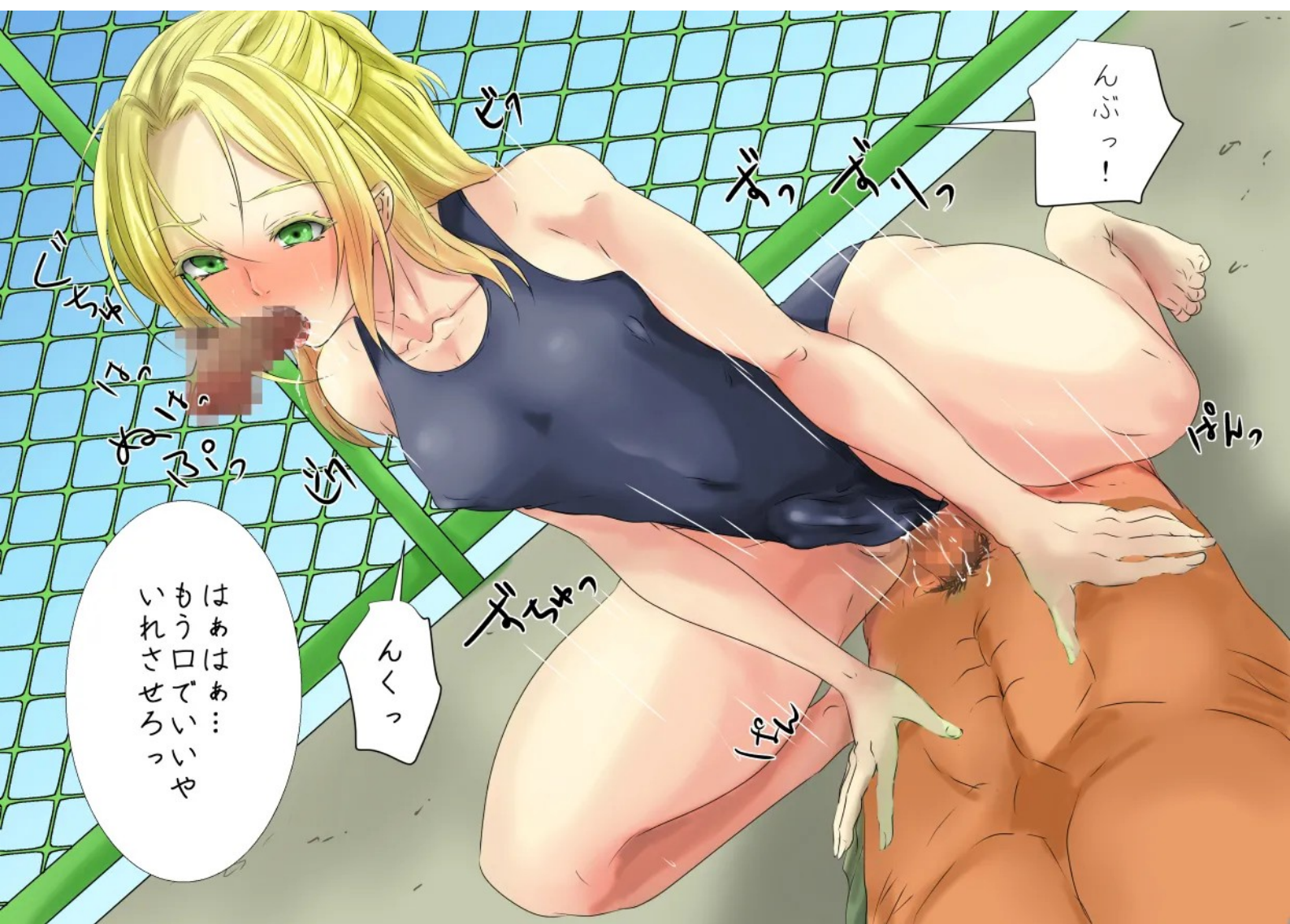
その顔は悦に浸っている。











んぐっ！

ぐちゃっ ぐちゃっ

ぱん

ぱん

ぐちゃっ

んぐっ

はあはあ
もう口で
いれろ
いっや







俺も出るっ
ぶっかけてやるっ

あぁっ

びゅく

どろ

どろ

ぐろ...

びゅっ

どろ
ぶっ

はぁっ

気持ちいい
かよ

どろ







十数人いる水泳部員に代わる代わる犯される。

そうしていれば、気が付けば日も暮れかけていた。

着せられたスクール水着は穴が空けられ、そこから見える乳首はいじられ過ぎて赤くなっていた。

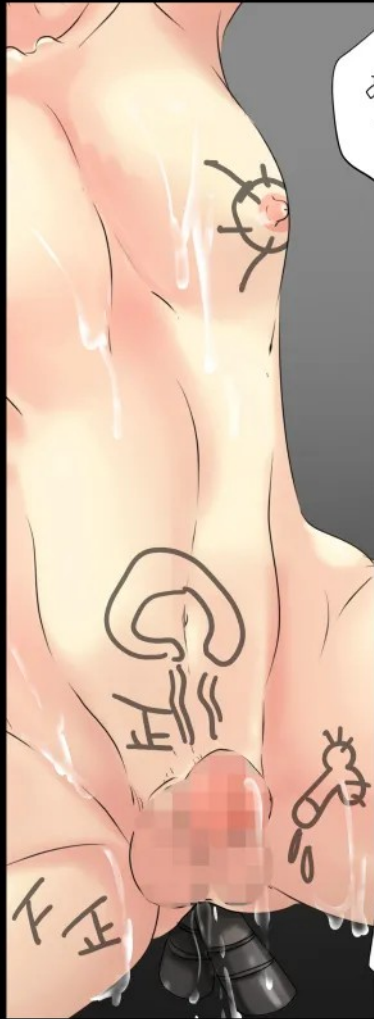
いきすぎて喘ぐことしか出来なくなったハヤト。

その様子をビデオに収め、満足そうにする先輩。

後日、その映像は売りに出された。
それなりの売り上げを出したらしい。

だが、ビデオとは関係なく、ハヤトの性生活は狂った。





あっ

ふっ

はっ

あんっ

はっ
ひあっ

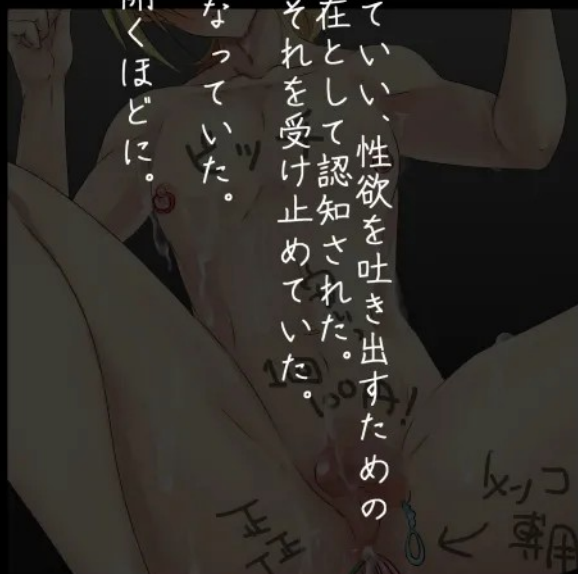


ああっ!
もっとお...

はっ



100円
100円



ハヤトは好きに犯していい、性欲を吐き出すための
おもちゃのような存在として認知された。
しかし、ハヤト自身、それを受け止めていた。
すっかり快樂の虜になっていた。
自ら女装をし、股を開くほどに。



はあはあ
早くっ
誰かあ
ハメてえ

ひひっ
すっぴん
身体になっ
スケべな
女抱けね
なあ









あはっ！

ナカっ！

あぁっ！
いっばい！
そそいであ！

ビク
ビク

ビク
ビク

ガク

ビク

ガク
ガク

ビク
ビク

ビク
ビク

びゅ
びゅ



ひひっ
まだハメたいって
チンコが待機して
喜べよ

はっ
ヒクッ

ヒク
はっ

トロ...

グニョ
グニョ

はひっふうっ
あ、ありがとうございましゅう
ハメてつかってええ！



うわっ
胸成長してるww
やべえww
乳首やべえww

あんっ

ビッ

ああっ

ビッ

グッ

ビッ

頭も体も
おかしくなってるなあ

ビッ

ずっ

ずっ

ずっ

卑猥に変貌した身体はもう取り返しがつかないと
誰が見ても明らかだった。
しかし、ハヤトは満足そうであった。
今日もきつとこれから先もその身体に快楽を求め続ける
のであろう。





はあはあはんっ

もっと
ちょうらい

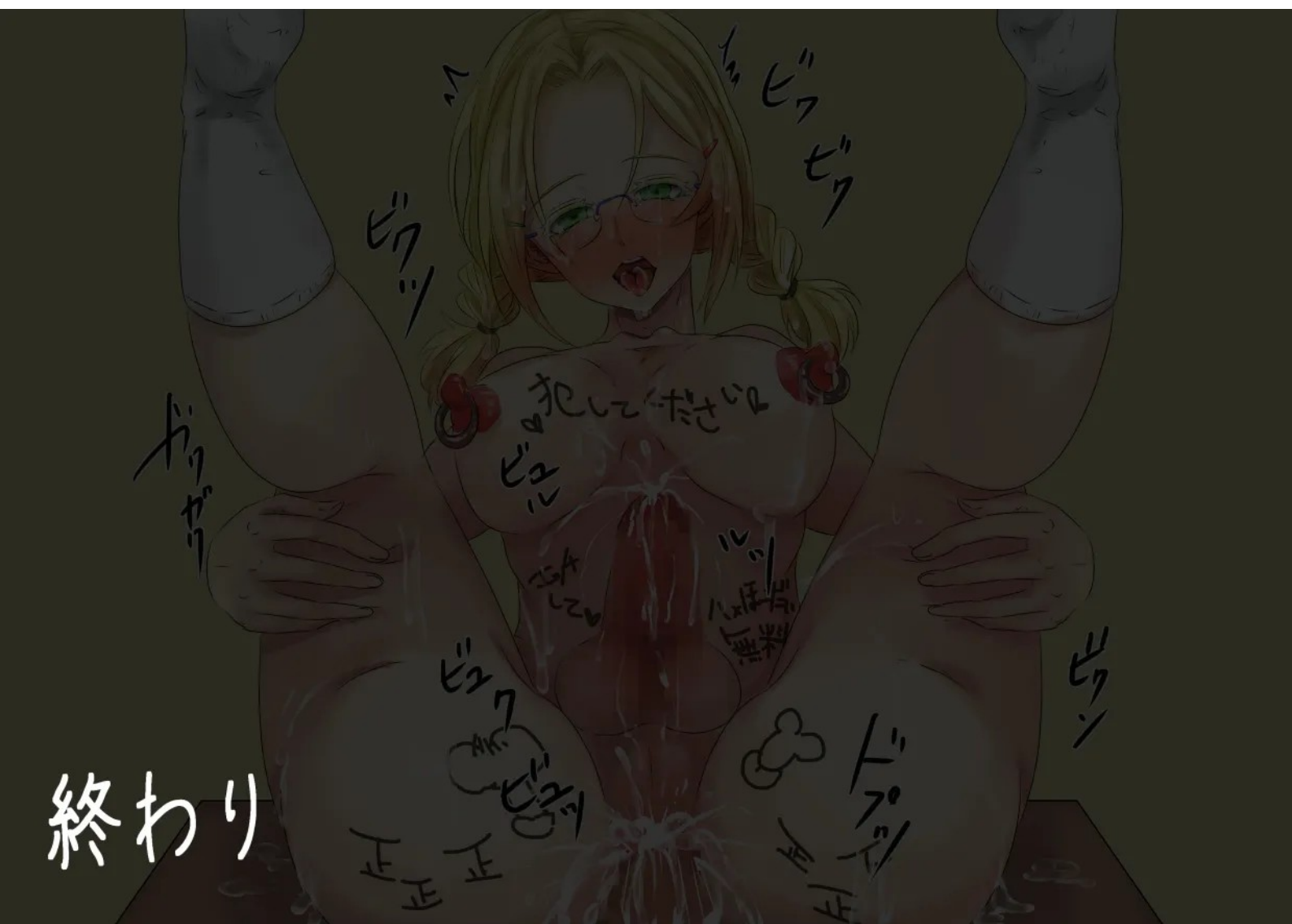
お尻を揉んで

ビュッ
びしょ
ぐちゃぐちゃ

ビュッ
びしょ
ぐちゃぐちゃ

ビュッ
びしょ
ぐちゃぐちゃ

ビュッ
びしょ
ぐちゃぐちゃ



終わり



































